



2024年10月10日

各位

会社名 テクミラホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 池田昌史
(コード番号：3627 東証スタンダード)
問合せ先 経営管理本部長 藤代 哲
(TEL. 03-6838-8800)

2025年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年4月12日に公表いたしました2025年2月期(2024年3月1日～2025年2月28日)第2四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2025年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正(2024年3月1日～2024年8月31日)

	売上高	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,600	百万円 △80	百万円 △50	円 銭 △4.25
今回修正予想(B)	5,554	65	△66	△5.65
増減額(B-A)	954	145	△16	
増減率(%)	20.7%	—	—	
(参考)前期連結実績 2024年2月期 第2四半期累計期間	4,134	54	34	2.93

2. 業績予想修正の理由

連結売上高については、各セグメントとも好調に推移し、全体として大幅増となる見込みとなりました。主たる要因としては、ライフデザイン事業においては、本年5月に韓国、台湾、香港等で発売した新作ゲームソフトのアジア版が各国で好評を博し販売が拡大したこと、AI&クラウド事業では、AIやDXソリューションなどの付加価値分野が好調だったこと、IoT&デバイス事業においては、ODM事業の受注が予想を大きく上回ったことなどです。

連結経常利益につきましては、上記の増収要因により、各セグメントともセグメント利益が増加、前回の赤字予想から、65百万円の黒字となる見込みです。一方、親会社株主に帰属する中間純利益は、資本業務提携に伴って保有した上場株式の価格が下落し有価証券評価損が発生すること等により、78百万円の特別損失が見込まれることから、前回予想を16百万円下回る見込みであります。

3. 今後の見通し

2024年4月12日に公表いたしました2025年2月期の通期業績予想については、変更ございません。

以 上